

# バリデーションガイドライン 添付2 FRIS検証項目一覧

項番	国際的指針	EDINETにおけるチェック内容
2.1.6	XBRL instances should use the recommended default namespace prefix for all namespaces.	EDINETタクソノミや提出者別タクソノミを含むDTS内で宣言されている名前空間プレフィックスと、報告書インスタンスで宣言されている名前空間プレフィックスが同一であることを検証します。
2.1.8	Irrelevant schema location hints should not appear in XBRL instances.	提出文書内に関連のないスキーマロケーションが含まれていないことを検証します。
2.1.9	An xsi:schemaLocation hint should not contain more than one namespace-location pair.	xsi:schemaLocation属性に、名前空間とロケーションのペアが二つ以上指定されていないことを検証します。
2.9.4	All arcs within a footnote link must have the same arc role.	フットノートリンクのアークロールがすべて同一であることを検証します。